

2011

年次報告書

5歳の笑顔が、未来をつくる。



© 小林正典

5歳の笑顔が、
未来をつくる。



年次報告書2011
発行日：2011年6月
発行人：深水正勝

■ 東京事務局
〒112-0013
東京都文京区音羽1-10-4 池田ビル3F
TEL: 03-3943-6971
FAX: 03-3943-6973
Email: info@cyr.or.jp
URL: <http://www.cyr.or.jp>

■ プノンペン事務所
CYK(Caring for Young Khmer)
P.O.BOX No12 Phnom Penh, Cambodia
TEL: +855-23-210849
Email: CYKPP@online.com.kh

幼い難民を考える会（CYR）は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに生きようとする姿に触発され、1980年に設立されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。

CYRは認定NPO法人です。個人・法人によるご寄付、相続財産のご寄付は、税制優遇措置を受けられます。





©小林 正典

「年次報告書に寄せて」

特定非営利活動法人
幼い難民を考える会
代表理事 深水 正勝



未曾有の大震災を体験しつつある私たちです。これまでの豊かさに恵まれた日本の社会は、これからの歩みを不安の内に見つめている状態です。ただ一つ既に確かなしるしが見えるのは、苦勞している人たちとの連帯を求めて、盛んに動き出している多くの人たちの存在です。かつて、カンボジア難民と呼ばれる人たちが、国内の苦境を逃れるために、着の身着のままタイ国境を越えました。のちのカオイダン難民収容所をはじめとして、タイ国内各地に身を寄せて不安な生活を始めたころ、「幼い難民を考える会」

の活動が、全く何もないところから始まりました。

今日ボランティアの活動の重要性を理解していても、まだ十分に活動してもらうための準備さえ整っていない被災地の状況と言われます。災害の規模の大きさと根深さを考えるとき、やがて本当に日本全体が立ちあがって、力と知恵を持ち寄って新しい社会を現地に創り出すだけでなく、私たちの生き方、日本全土の社会の在り方を創り出す時が来るでしょう。

活動概要

「幼い難民を考える会(CYR)」は、カンボジアと日本で、幼い子どもたちと、女性の自立のために活動しています。

カンボジア保育事業

未来を担う子どもたちに、夢と自信と平和の心を。

厳しい状況にある幼い子どもたちが、一人でも多く、より良い保育を受けられるよう、給食の提供、保育者の育成、教材の開発などを、地元の人たちと一緒にしています。子どもたちは、集団生活を通じて他人を尊重すること、自分に自信を持つことを学び、平和な心を育てていきます。

⇒P4



©小林 正典

カンボジア織物事業

生活向上と伝統文化の継承が女性たちの誇りにつながる。

農村に暮らす女性たちの経済的自立と、戦争で失われてしまった伝統文化の復興を目指し、織物研修センターを開いています。技術を身につけた女性たちは、家事や農業をしながら機を織って、家族の生計を支えています。卒業生の作品は、カンボジアや日本で販売し、収益を事業に役立てています。

⇒P5



©小林 正典

日本国内事業

カンボジアの現状を伝え、支援の輪を広げていく。

活動報告会・写真展・織物販売会・募金活動などを通じて、日本での支援の輪を広げ、収入をカンボジアの子どもと女性のために役立てています。

⇒P6



カンボジアでの活動地域

2010年度は、2,105カ所の保育園・幼稚園・小学校の、3,280名の先生と112,195名の子どもを対象に保育支援を行いました。また、194名の女性を対象に織物の技術指導を行いました。



■ プンベン市
テッカボンヨ公立幼稚園、マタピアップ保育園、スピエンクボ保育園、コー第1村保育園、第2村保育園、スバイバ保育園、ローコンバオ保育園、トロピエンスパイ公立小学校・5歳児クラス

■ タケオ州(織物技術指導)
織物長期研修、織物巡回研修

■ カンダール州
バンキアン保育園、プレイ外ウ保育園
全公立幼稚園192園

■ 全州(保育教材配布)
全公立幼稚園1,905園
※うちモニタリングを行った州は、コッコ

■ 農村の保育園

バンキアン・プレイ外ウ保育園が地域の人々による自主運営を目指して19年、さまざまな成果が見え始めています。

(1) 運営費の確保に向けて

① 委員会や先生を対象に小規模貸付を行い、利息を人件費の一部に充当しました。

② 給食費をまかなうために、米や野菜を作りました。田植えや池掘りの実作業には、保護者も協力しました。



© 小林正典

(2) 先生の育成

他保育園を見学したり実習を行い、能力の強化を図りました。

(3) 給食の提供

安く栄養価の高い給食作りのため、カンボジア人栄養士を招いて研修を実施しました。

■ 都市スラム

(1) 現地NGO「ケマラ」が運営する6ヵ所の保育園

ケマラの保育園へ、教材・保育研修・給食費の継続支援を行いました。

(2) トロピエンスバイ公立小学校・5歳児クラス

① 子どもたちの健全な成長を支えるため、約470名を対象に給食を支給しました。

② 給食費を払えない保護者を対象に、布ボール作りのワークショップを行い、縫製料を支払いました。



© 小林正典

③ 虫歯予防のワークショップと歯科検診・治療を行いました。

④ 地域の医師・看護師の協力で、子どもたちの健康診断を行いました。

■ 政府運営の幼稚園への協力

(1) 公立幼稚園

カンボジア政府が運営する公立幼稚園は、先生の経験や施設が不足しています。遊具・教材の提供や研修に協力しました。

① カンダール州公立幼稚園

他州のモデルとなるような質の高い保育内容を目指し、環境整備や教材作り、先生たちの研修に力を入れました。

② 僻地公立幼稚園

支援が届きにくい州の先生を対象に研修を行い、教材17種を配布して、38園に通う約2,100名の子どもたちが遊びながら学べる環境を作りました。

③ テッカボンヨ公立幼稚園

登録数が132名に増え、出席率は平均91%となりました。他州での保育研修の機会を提供して、多くの先生たちと意見交換をしました。新しく製作した教材を使って、保育に広がりが出てきました。



© 小林正典

(2) 公立地域幼稚園

教材配布をした幼稚園のうち2ヵ所を訪問して、継続支援をしました。

日本人織物専門家を短期で派遣して、より質の高い生地を織れるように草木染めの研修をしたり、委託販売の拡大に努めました。

■ 織物研修センターでの技術研修

① 一人ひとりに適した織物指導を行いました。研修生が苦手な工程は、繰り返し丁寧に指導しました。



© 小林正典

② 織物製品を販売するハンディクラフトショップを訪問したり、国立博物館のピダン展示会を見学するなど、外からの学びの機会を通じて、仕事に自信と誇りを持てるように努めました。

③ 藍建ての方法を試みて、藍色を使った新たな色づくりに挑戦しました。

④ 日本人の織物専門家が、スタッフと卒業生を対象に草木染めの研修を3回行いました。染め方、色見本作り、緯糸の色合わせなど、基本的な技術を実践的に学びました。

⑤ 染め場の改築を行い、道具置き場と洗い場を新しく作りました。



© 小林正典

■ 地域で織物をする女性のための巡回研修

織物をしている女性たちの要望に応じて、新しい模様などを学ぶワークショップを4回実施して、合計100名の参加者を受け入れました。



© 小林正典

■ カンボジアでの資金確保を目指して

(1) シェムリアップ3店、プノンペン1店で委託販売を行い、観光客の増加とともに販売を拡大しました。展示販売会にも出店して、研修経費の一部をまかないました。

(2) CYR直営店の展示を充実させました。セールを3回開催するなど、積極的な顧客対応に努めました。



© 小林正典

■ 広報活動

設立30周年を迎え、定期広報物の発行やイベント開催による情報発信に一層の力を入れました。

- ・ ニュースレター
Children, Our Future 発行(年4回)
- ・ 年次報告書の発行(6月)
- ・ ホームページの定期的更新
- ・ 募金チラシの作成
- ・ CYR通信(メール)を配信(月1回)
- ・ mixiの活用
- ・ 講演・報告会を開催



ニュースレター Children, Our Future



月いち募金 チラシ



2010年度年次報告書

■ 物品販売

● カンボジア手織り布製品

- 百貨店
高島屋(日本橋・名古屋)に出展しました。
- カンボジア手織り布ショップ「ラタナ」
事務所併設の直営店「ラタナ」では、セールや通信販売を行いました。
- 全国各地
買取販売11件、企業特別注文9件と、全国各地で販売にご協力いただきました。



「ラタナ」通信販売チラシ

● CYRオリジナルカレンダー

写真家・小林正典氏によるオリジナルカレンダー「カンボジアの子どもたち」(1,000円)を3,000部製作・完売しました。



2011年度 カレンダー

■ みんなで布チョッキン

～カンボジアの子どもたちへ人形とボールを～

カンボジアの子どもたちが遊ぶ人形・ボール作りをお手伝いいただく「みんなで布チョッキン」。参加型ボランティアプログラムとして、たくさんの企業・団体・学校と連携して取り組みました。

のべ参加者数：2,048名
開催回数：35回
完成個数：ボール 2,402個、人形 836体
募金額：2,037,000円

⇒P8参照



© 小林正典

■ CYR設立30周年記念企画

設立30周年を記念して、様々な企画を実施しました。

- ・写真集「カンボジア 子どもたちとつくる未来」発売
- ・オリジナルTシャツ販売
- ・マスコットロード ～みんなで買って、カンボジアの女性をハッピーに！～
- ・月いち募金サポーターの募集



写真集



オリジナルTシャツ

愛知支部 「幼い難民を考える会 あいち」(CYR-A)の活動

- ・ みんなで布チョッキン開催(11回、568名参加)
- ・ カンボジア手織り布製品販売に協力(7回)
- ・ 「カンボジア 子どもたちがつくる未来」写真展、講演会開催



「カンボジア 未来をつくる子どもたち」写真展



国内活動一覧

手織り布製品販売 全32件

出張販売

- 6月 ● <サバライ!カンボジア> CYR(東京)
- 7月 ● カトリック清瀬教会(東京)
- 高島屋<日本橋>(東京)
- 8月 ● 三菱商事株式会社(東京)
- 10月 ● <祈り題目> 堀の内妙法寺(東京)
- 高島屋<名古屋>(愛知)
- 高島屋<新宿>(東京)
- 12月 ● NTTコミュニケーションズ(東京)
- 三菱商事株式会社(東京)
- 富士通株式会社(東京)

他

買取販売/企業特別注文

- 藍と古布 かがり屋
- 秋田県国際交流をすすめる女性の会「わびえ」
- 栄光学園 愛の運動委員会
- 大阪保育福祉専門学校
- 風のガーデン
- 株式会社ピース・イン・ツアー
- 自治労西東京市職員労働組合
- 東洋英和女学院大学
- 有限会社アイ・エンタープライズ
- 有限会社ビー・アイ



©小林正典

みんなで布チョッキン 全23グループ

- 4月 ● 三菱商事株式会社(東京)
- 丸紅株式会社(東京)
- 5月 ● 株式会社ジャルツアーズ(東京)
- 取手松陽高等学校(茨城)
- 6月 ● ギャップジャパン株式会社(神奈川)
- ゴールドマン・サックス(東京)
- 7月 ● カトリック清瀬教会(埼玉)
- 8月 ● 市川友の会(千葉)
- 自治労群馬県本部青年女性部(群馬)
- 10月 ● ブルデンシャル生命保険株式会社 千代田支社(東京)
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンひらつか(神奈川)
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンほどがや(神奈川)
- 自治労福岡県本部ユース部(福岡)
- 11月 ● 教覚寺(静岡)
- 自治労神奈川県本部(神奈川)
- UBS Group(東京)
- 12月 ● キッコーマンビジネスサービス株式会社(東京)
- 北星学園大学附属高等学校(北海道)
- 2月 ● 特定非営利活動法人WE21ジャパンさいわい(神奈川)
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン旭(神奈川)
- 横浜雙葉高等学校(神奈川)
- 三井住友海上火災保険株式会社(東京)
- 3月 ● 株式会社アイ・ティ・フロンティア(東京)

その他イベント協力 全4回

- 4月 ● 「花まつりコンサート」
百観音明治寺(東京)
- 12月 ● 「写真家達によるチャリティー展」
フォトボランティアジャパン(東京)
- 「グレゴリオ聖歌による降誕祭・暁のミサと小コンサート」
CANTATE DOMINO(東京)
- 2月 ● 「カンボジア 子どもたちとつくる未来」写真展(愛知)

※「バザー」全11回
幼い難民を考える会チャリティー・バザーグループ

2011年度 おもな活動計画

カンボジア



©小林正典

■ 保育

● 地域幼稚園

よりたくさん子どもたちが遊びながら学べるように、小規模な地域幼稚園を新たに2カ所開きます。

● 農村の保育園の自主運営と質の向上をめざして

- ・ 給食食材自給率の向上をめざします。農業専門の現地NGOから、米や野菜作り、魚の養殖方法を学びます。保護者に給食費の呼びかけをして、徴収率の伸びを目標とします。
- ・ 卒園生2名が先生として働きはじめます。
- ・ 委員会や先生、村の人たちを対象に小規模貸付を行い、利息を人件費の一部に充当します。

■ 織物

● 「環境」と「人」に優しい草木染め100%の製品の展開

- ・ 新たに織物専門家をスタッフとして派遣します。化学染料の使用をやめて、環境と人に優しい草木染め100%の質の高い製品作りに力をいれます。
- ・ 初心者を対象としてきた織物研修センターは、上級者研修に切り替えます。自宅で織物をしている女性を対象に、海外にも販路を広げられるよう製品作りを指導します。



©小林正典

日本国内

東日本大震災で被災された方々への支援活動を始めます。CYRがこれまで行ってきた経験を活かして、子どもたちが安心して過ごせる場所づくりと心のケア、被災された方々の自立支援に努めます。

東日本大震災被災地支援活動

あおぞら保育

- ・ 子どもたちが、先生や友だちと一緒に遊具や絵本で遊んだり、軽食を楽しむ環境作りを行います。
- ・ 遊具・教材・絵本をセットにして提供します。セットの一部は、ボランティアの方々手作りします。
- ・ 被災地や移転先で地域の人々が行う保育に協力し、保育担当者に手当てを支払って生活支援につなげます。

小規模奨学金

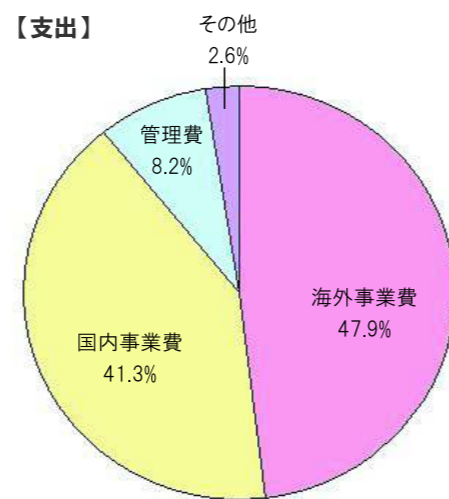
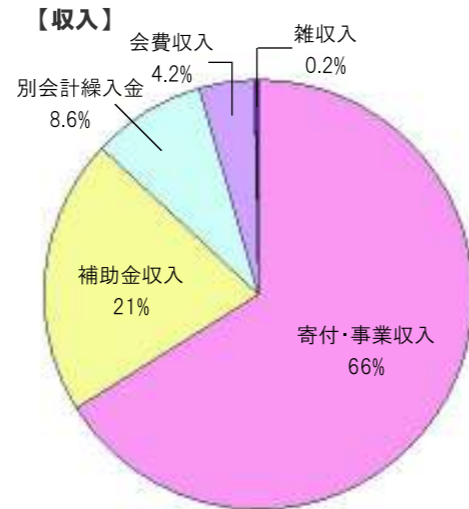
被災した子どもたちが就学を継続できるよう、奨学金を支給します。

収支決算書・予算書

科目	単位:円	
	2010年度決算額	2011年度予算額
I 収入		
1 期初活動準備金	11,317,091	17,016,720
2 会費収入		
会費収入	3,331,950	3,500,000
賛助会費収入	87,600	100,000
会費収入合計	3,419,550	3,600,000
3 寄付・事業収入		
寄付・募金収入	39,588,302	40,000,000
事業収入		
織物販売収入	7,282,244	7,500,000
ワークショップ収入	3,218,778	3,000,000
カンボジア事務所事業収入	3,762,587	4,500,000
事業収入計	14,263,609	15,000,000
寄付・事業収入合計	53,851,911	55,000,000
4 補助金収入		
補助金収入合計	17,150,000	15,000,000
5 雑収入(換算差益含む)		
雑収入合計	172,165	200,000
6 特別会計繰入金		
特別会計繰入金合計	7,000,000	0
当期収入合計	81,593,626	73,800,000
合計	92,910,717	90,816,720

科目	単位:円	
	2010年度決算額	2011年度予算額
II 支出		
1 事業費		
国内事業費		
震災関連事業費	0	13,000,000
国際理解事業費	739,455	870,000
広報費	1,106,727	1,330,000
織物等関係費	8,621,701	5,000,000
事業旅費通信費	854,981	1,350,000
国内事業人件費	22,039,773	24,700,000
国内事業費計	31,362,637	46,250,000
海外事業費		
保育事業費	11,541,296	5,260,000
織物事業費	1,301,482	1,660,000
旅費通信費等	2,664,613	2,620,000
海外事業人件費	11,867,961	15,800,000
現地職員保母等人件費	7,475,892	8,000,000
海外事業管理費	682,908	1,030,000
減価償却費	851,111	510,000
海外事業費計	36,385,263	34,880,000
事業費合計	67,747,900	81,130,000
2 管理費		
旅費交通費	377,440	500,000
会議・渉外費	183,330	200,000
通信運搬費	474,553	600,000
備品消耗品費	1,094,823	1,100,000
賃借料等	3,162,873	2,900,000
銀行手数料・雑費	807,706	1,500,000
減価償却費	105,000	110,000
管理費合計	6,205,725	6,910,000
3 租税公課		
租税公課合計	265,700	300,000
4 補助金返還金		
補助金返還金合計	1,406,363	500,000
5 雑損失		
雑損失合計	268,309	300,000
当期支出合計	75,893,997	89,140,000
次期活動準備金	17,016,720	1,676,720
合計	92,910,717	90,816,720

決算レート: \$1=84.15円 \$1=4,000リエル 予算レート: \$1=90円 \$1=4,000リエル



収支決算書・予算書 補足説明

2010年度決算

- 保育事業では補助金を得て絵本16種を印刷、全国の幼稚園に配布・研修をしました。
- 織物事業では日本の織物専門家を短期で派遣し、草木染め研修を行いました。
- 30周年記念で「月いち募金」キャンペーンを続け、サポーターが約70名になりました。日本人職員は織物専門家と経理担当を採用し、織物販売担当が退職しました。
- 収入が減り厳しい財政でしたが、遺贈のご寄付を受けて計画通り事業を実施しました。

2011年度予算

- 震災で被災した子どもたちへの事業を始めるため、資金集めに努めます。
- 震災のため海外事業への支援が減ると心配されます。収入によっては計画を見直します。
- 保育事業では僻地5州で研修を行い、新たに地域幼稚園2ヶ所を開きます。
- 織物事業では専門家が常駐し、質の高い製品づくりと販路拡大に取り組みます。

貸借対照表

科目	単位:円	
	金額	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	73,013	
郵便振替	2,605,910	
通常貯金	159,088	
普通預金	12,626,409	
定期預金	5,948,582	
貯蔵品	105,935	
前渡金	353,430	
仮払金	4,436	
仮払税金	28,535	
現地事業貸付金	812,048	
特別会計預金	49,000,000	
敷金	828,571	
流動資産合計	72,545,957	
2 固定資産		
車両運搬具	5,930,212	
無形固定資産	525,000	
固定資産合計	6,455,212	
資産合計	79,001,169	

科目	単位:円	
	金額	金額
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	1,220,000	
預り金	953,963	
流動負債合計	2,173,963	
2 固定負債		
退職給与引当金	5,948,582	
減価償却引当金	4,861,947	
固定負債合計	10,810,529	
負債合計	12,984,492	
III 前期繰越正味財産	67,317,091	
当期正味財産増減額	-1,300,414	
正味財産合計	66,016,677	
負債及び正味財産合計	79,001,169	

換算レート: \$1=84.15円 (2011年3月31日 三菱東京UFJ銀行TTS) \$1=4,000リエル

監査報告書



会員（2011年3月末現在）

- 会員:438名
 - 正会員 391名
 - 一般会員:370名
 - 学生会員:15名
 - 団体会員:6団体
 - 賛助会員:47名
- 寄付者:541名

2010年度 寄付者

(10万円以上、50音順)※個人を除く

- エイバックス・マーケティング株式会社
- NTTコミュニケーションズ株式会社
- えん21
- 幼い難民を考える会 あいち
- 幼い難民を考える会チャリティー・バザーグループ
- 花王株式会社(花王ハートポケット倶楽部)
- カトリック麻布教会
- カトリック高輪教会
- 金沢香林坊ロータリークラブ
- 株式会社大田祐子デザインオフィス
- 株式会社クリアストーン
- 株式会社バージンダイアモンド
- 株式会社ピース・イン・ツアー
- 株式会社ユナイテッドアローズ
- CANTATE DOMINO
- キッコーマンビジネスサービス株式会社
- グループ五つの星
- ゴールドマン・サクス
- 国際ソプロチミスト 東京-麻布
- 財団法人あすて
- 枝光学園幼稚園
- 聖心女子大学聖心祭実行委員会
- 聖心女子大学同窓会宮代会
- 全国友の会
- 全日本自治体労働組合福岡県本部ユース部
- 大乘山経王寺
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- 東洋英和女学院大学 学生有志
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンあさお
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン厚木
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンかながわ
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン港南
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンざま
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンひらつか
- 花まつりコンサート実行委員会
- フォトボランティアジャパン基金
- プルデンシャル生命保険株式会社 千代田支社
- 三井住友海上火災保険株式会社(MS&ADスマイルハートクラブ)
- 三菱商事株式会社

2010年度 補助金収入内訳
(50音順)

- 国際ボランティア貯金 9,230,000円
- 財団法人日本国際協力財団 1,000,000円
- 全日本自治体労働組合関東甲地区連絡協議会 1,700,000円
- 全日本自治体労働組合熊本県本部 600,000円
- 全日本自治体労働組合千葉県本部 350,000円
- 全日本自治体労働組合福岡県本部 1,200,000円
- 特定非営利活動法人アース仏教国際協力ネットワーク 1,000,000円
- 日本労働組合総連合会「連合・愛のカンパ」 1,500,000円
- フェリシモ基金事務局 570,000円

2010年度 物品購入

(10万円以上、50音順)※個人を除く

手織り布製品

- 株式会社小田急百貨店 町田店
- 株式会社ジェイアール東海高島屋
- 株式会社高島屋百貨店事業本部
- 宗教法人専念寺
- 有限会社アイ・エンタープライズ
- 有限会社ビー・アイ

2010年度 物品寄贈

事務用品

- 株式会社リコー

カンボジアの子ども支援
チャリティーカレンダー販売



カンボジアで幼い子どもを支援するNPO法人「幼い難民を考える会」(東京都文京区)が、11年版カレンダーを販売している。たくさん売って、収益は子どもたちの教育に充てられる。70年代のポル・ポト政権下の虐殺や内戦によって、200万人ともされる犠牲者を出したカンボジア。同会は80年、多くの人が避難した隣国タイのカオアイダン難民キャンプに保育所を作り、子どもたちの教育支援を始めた。キャンプが閉鎖された93年以降も、カンボジア国内で保育所を運営。給食の提供や保育者の育成を続けるほか、女性の経済的自立を目的とした織物の技術指導などを行っている。2人の日本人が駐在。日本国内には約450人の会員がいて、活動を支えている。カレンダーの写真は、94年に国連写真家賞を受賞したフォトジャーナリストの小林正典さんが撮影した。同会が支援する保育所で遊んだり、給食用の米を収穫する子どもたちの愛らしい姿が収められている。

1冊1000円(送料200円、10冊以上は送料無料で概ね送料30%)。2500冊を限定販売する。1冊の収入で50人分の給食を提供できるという。問い合わせは同会(☎03・3943・6971、メールはinfo@canthor.jp)。【町田結子】

毎日新聞 2010年9月22日 (埼玉 文化欄)

朝日新聞 2010年5月25日 (東京マリオン)

◆見て、作って、楽しめる♪ カンボジア手織り布フェスタ



8月5日 土、朝10時半～夜5時、渋谷区広尾4丁目のJICA地球ひろば3階講堂(広尾駅)。カンボジアで女性の経済的自立を目的に、伝統的な織物の技術研修を行っているNPO法人「幼い難民を考える会」が主催。カンボジアの手織りシルク製品=写真はイメージ=の販売やカンボジア人スタッフによる文化の紹介、ファッションショーなど。無料。直接会場へ▷11時、3時、コースターの手織り体験またはアクセサリー作り体験を開催。各回1500円。定員各回15人(先着)。要予約。☎同会(03・3943・6971)。

- その他
読売新聞
カトリック新聞
毎日新聞
中日新聞
THE PHNOM PENH POST
ソトコ
緑区ホームサービス
※合計9つのメディアで紹介されました。

CYRについて

役員

2011年3月末現在

代表理事 深水 正勝
 副代表理事 交野 政博
 理事 高木 正彦
 田中 周子
 深津 高子
 松岡 玲子
 山田 暢子
 吉川 健治
 監事 大川 晴一郎
 鈴木 雅博

職員

2011年3月末現在

職員 東京事務局 6名(事務局長 峯村 里香)
 カンボジア事務所 13名(内、日本人2名)

アドバイザー

上田 広美(東京外国語大学准教授)
 岡田 知子(東京外国語大学准教授)

理念

Children, Our Future

今日の子ども幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちが、タイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで、少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会(CYR)の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する態勢に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。

活動履歴

1980 . . . '85 . . . '90 . . . '95 . . . '00 . . . '05 . . . '10

タイ

難民キャンプでの保育・職業訓練

国境被災村での保育活動

スマトラ沖地震・津波被災支援

カンボジア

農村での保育活動

織物技術訓練

都市貧困地域での保育活動

公立幼稚園協力

公立地域幼稚園協力

入会のご案内

パートナーとして一緒に活動を支援してください。

年会費 10,000円
 (学生 3,000円 団体30,000円)

- ・カンボジア手織りシルクのマスコットをプレゼントします。
- ・活動紹介DVDをプレゼントします。
- ・ニュースレター *Children, Our Future* をお送りします。
- ・総会、イベント案内をお送りします。
- ・CYR直営店 カンボジア手織り布ショップ「ラタナ」にて、全商品を1割引で購入いただけます。

認定NPO法人

ご寄付が寄付金控除の対象となります。

CYRは、2006年3月1日より「認定NPO法人」として認定されました。これは、組織運営・事業活動が適正であるとして国税庁が認定するものです。全国で42,120団体あるNPO^①のうち、2011年5月1日現在、208団体^②のみが認定されています。みなさまからのご寄付は寄付金控除の対象となります。

① 内閣府 NPOホームページ参照
 ② 国税庁 認定NPO法人名簿参照



©小林正典